

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立犀川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒920-1302
石川県金沢市末町2-148

E-mail : saigawa-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/saigawa-e

児童生徒数：男子 114 名 女子 128 名 合計 242 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

3年 犀川新発見プロジェクト

町探検、太鼓・昔遊び体験などを通して、今まで知らなかった犀川校区の「文化・人・歴史」などについて知り、よさを見つけることができた。また、地域の公民館の見学や公民館行事の参加を通して校区の人々と仲良くなり、心のつながりの大切さが理解できた。さらに、金沢の和菓子や茶道、伝統行事を体験することで、金沢のよさを見つけることができた。

それらの学習活動から、犀川をふるさとだとする意識を育むことができた。

4年 犀川探検プロジェクト

校区を流れる犀川の自然や水質調べ、校区の文化遺産ともいえる「辰巳用水」や「末浄水場」の見学などを通して、「私達の川」犀川の水質の良さや環境保全の大切さについて理解するとともに、犀川を活用した用水などが昔から市民生活と深い関係にあることが理解できた。また、金箔工芸体験を通じた金沢の伝統文化や、ふるさと偉人館見学による金沢の偉人について学ぶことで、金沢のよさを見つけることができた。

それらの学習活動を通して、ふるさとの特色を理解し、ふるさとを大切にしようとする意識が育ってきた。

5年 農林業体験プロジェクト

森づくり活動、校区の米作り体験などを通して、森の働きや森の大切さ、農林業に従事する人々の苦労や工夫などが理解できた。また、医王山や加賀野菜を調べることで、ふるさとのよさについて理解を深めることができた。また、作った餅米を使い、地域の人達と餅つきをする活動などを通して、地域の人達との楽しい交流ができた。

それらの学習活動により、犀川や金沢の環境・食文化について考えることができた。

6年 金沢探検プロジェクト

第3学年から第5学年までの「総合的な学習の時間」で調べたことをまとめる活動や、犀川地区を詳しく調べる活動、また、金沢中心部探索活動などを通して、犀川・金沢の「人・文化・歴史」等についてより深く理解することができた。

さらに、近隣の小学校に調べた事を発信する活動を行うことで、自分達の地域の特徴を再認識することができた。

それらの学習活動を通して、自分のふるさと犀川・金沢についての良さを再発見する事ができた。また、自分達の住む地域の課題や将来像を考えることができた。

成果と課題

昨年度から取り組んでいる活動内容の充実と交流発信をキーワードにして取組んだ。他学年に向けての発表や近隣小学校への発信などを実施できた。また、総合の掲示板をユネスコスクールの掲示板として、ユネスコスクールの取組の紹介をし、毎日児童が目にするようにした。

児童は様々な体験活動・調べ活動を通して、ふるさと犀川・金沢のよさを知り、多くの人達と交流し親しむことができた。

今後も、ふるさとのよさをこれからも守り続けていくためには、何をしたらいいのかという、具体的な活動を創造させていきたい。その中に、地域のよさを他の地域へ発信し、広める活動を取り入れたい。

